
赤潮注意報 (ヘロシマアカソ)

鹿児島県水産技術開発センター
平成29年3月13日

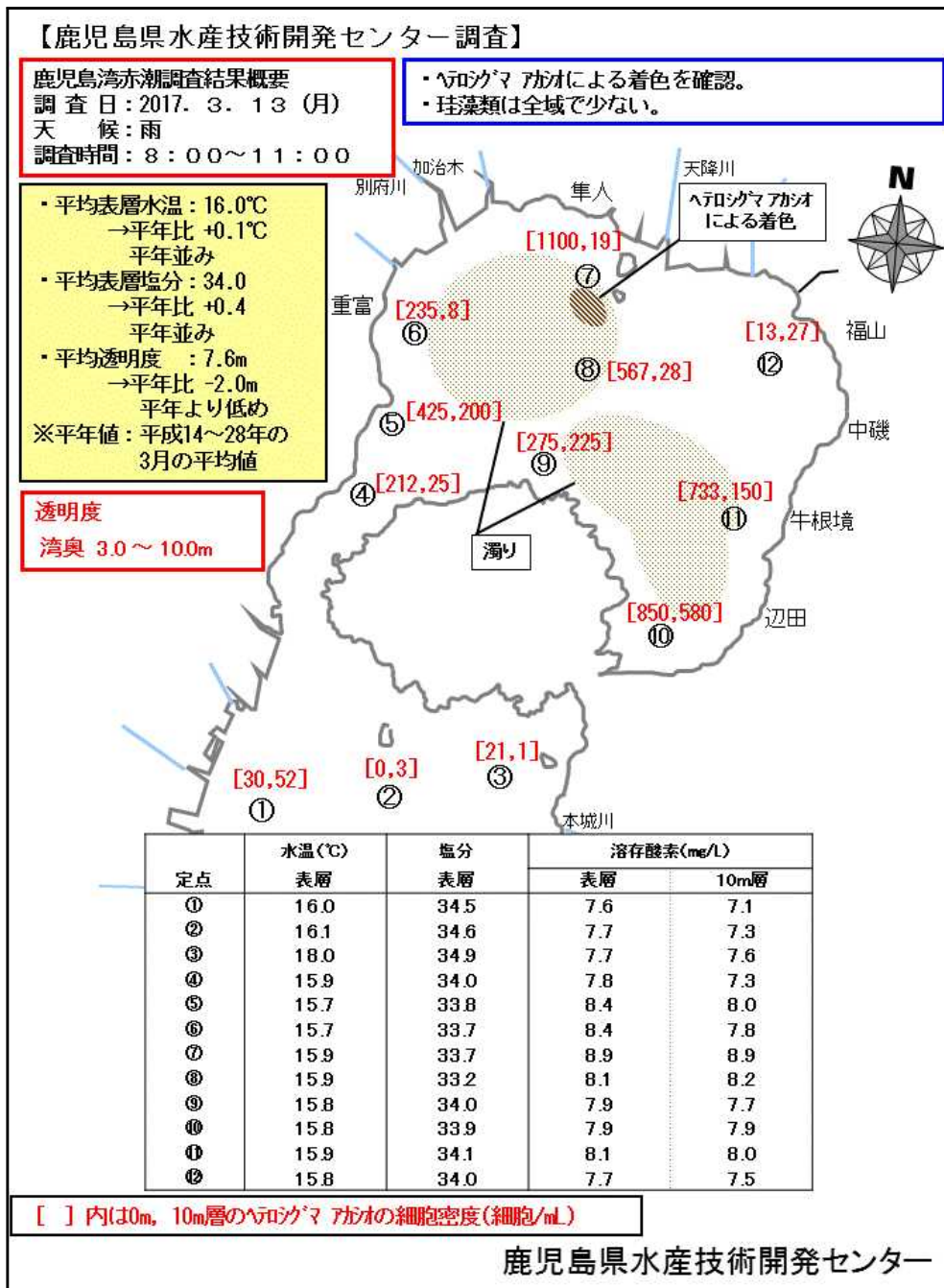
鹿児島湾赤潮注意報 No. 2

[1] 3月13日の調査結果

本日、鹿児島湾を調査した結果、有害種のヘロシマアカソが全調査定点で確認され、最高細胞密度は隼人沖の1,100細胞/mLでした。なお、湾奥部では全体的にやや濁っている状態であり、湾奥中央から隼人沖にかけて着色域が確認されました。競合種である珪藻類は、全域で少ない状況です。

[2] 今後の赤潮発生の予想

本日の降雨により、海域には栄養塩が供給されていると考えられます。明日以降、天候が回復する予報であり、珪藻類も少ないことから、状況によっては有害種がさらに増加する可能性があります。よって、各漁協・養殖業者におかれましては、検鏡により細胞密度を把握し、海水の色や魚の状態に細心の注意を払うとともに、必要に応じて餌止めを実施する等、十分な注意をお願いします。



赤潮情報(携帯用)
: <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/index.shtml>

赤潮図鑑(パソコン用)
: <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>